

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 7 月 21 日 (2005.7.21)

【公表番号】特表 2004-528089 (P2004-528089A)
 【公表日】平成 16 年 9 月 16 日 (2004.9.16)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-036
 【出願番号】特願 2002-580977 (P2002-580977)
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 L 27/00
 A 6 1 K 38/22
 A 6 1 K 45/00
 A 6 1 K 47/48
 A 6 1 P 29/00

【F I】

A 6 1 L 27/00 V
 A 6 1 L 27/00 C
 A 6 1 L 27/00 G
 A 6 1 L 27/00 Q
 A 6 1 L 27/00 Z
 A 6 1 K 45/00
 A 6 1 K 47/48
 A 6 1 P 29/00
 A 6 1 K 37/32

【手続補正書】
 【提出日】平成 15 年 11 月 19 日 (2003.11.19)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

組織操作および / または外科手順において使用するための、表面を含むビヒクルであって、メラニン細胞刺激ホルモン (M S H) レセプターリガンドが、該表面に固定されていることを特徴とする、ビヒクル。

【請求項 2】
前記表面が、細胞キャリア表面である、請求項 1 に記載のビヒクル。

【請求項 3】
 前記ビヒクルが、人工器官、移植物、マトリクス、ステント、ガーゼ、包帯、プラスタ-、生分解性マトリクス、またはポリマーフィルムである、請求項 1 または 2 に記載のビヒクル。

【請求項 4】
 前記 M S H レセプターリガンドが、M S H、またはその機能性フラグメントである、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載のビヒクル。

【請求項 5】
 前記レセプターリガンドが、M S H の構造改変体を含むペプチドであり、そして M S H レセプター結合機能を有する、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載のビヒクル。

【請求項 6】

前記 M S H レセプターリガンドが、タンパク分解性切断によって放出される、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載のビヒクル。

【請求項 7】

M S H レセプターリガンドに対して近位のタンパク分解性切断部位を含む、請求項 6 に記載のビヒクル。

【請求項 8】

M S H レセプターリガンドが、リンカーによってビヒクルに連結されている、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載のビヒクル。

【請求項 9】

前記リンカーが、ポリエチレングリコール (P E G) リンカーである、請求項 8 に記載のビヒクル。

【請求項 10】

M S H レセプターリガンドと結合し、M S H レセプターリガンドにカップリングまたは連結するカリックスアーレンをさらに含む、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載のビヒクル。

【請求項 11】

プラズマ処理された表面をさらに含む、請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載のビヒクル。

【請求項 12】

急性炎症性上皮障害または慢性炎症性上皮障害の処置において使用するための、請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項に記載のビヒクル。

【請求項 13】

M S H レセプター結合リガンドを、上皮表面に送達するために使用するための、請求項 1 ~ 12 のいずれか 1 項に記載のビヒクル。

【請求項 14】

前記細胞キャリア表面が、ケラチノサイト；メラノサイト、皮膚上皮細胞、気管支上皮細胞、膀胱上皮細胞、角膜上皮細胞、内皮細胞、線維芽細胞、平滑筋細胞、単球、胃腸粘膜上皮細胞および口腔粘膜上皮細胞のいずれかまたはこれらの組み合わせに対する使用に適切である、請求項 2 ~ 13 のいずれか 1 項に記載のビヒクル。

【請求項 15】

軟骨修復；骨修復；筋肉修復；神経修復；結合組織修復；血管修復；膀胱修復における使用のための、請求項 1 ~ 14 のいずれか 1 項に記載のビヒクル。

【請求項 16】

前記ビヒクルが、美容術の組織操作を必要とする患者に塗布および／または移植されるために適合される、請求項 1 ~ 15 のいずれか 1 項に記載のビヒクル。

【請求項 17】

前記ビヒクルが、治療的な組織操作を必要とする患者に塗布および／または移植されるために適合される、請求項 1 ~ 16 のいずれか 1 項に記載のビヒクル。

【請求項 18】

請求項 1 ~ 17 のいずれか 1 項に記載のビヒクルを形成する方法であって、以下の工程：

i) リンカーを介して、M S H ペプチドを表面にカップリングする工程；

i i) M S H ペプチドを、カリックスアーレンまたはカリックスアーレン処理した表面に結合する工程；

i i i) M S H ペプチドをプラズマ処理した表面に固定化する工程；

の 1 つ、またはこれらの工程の組み合わせを包含する、請求項 1 ~ 17 のいずれか 1 項に記載のビヒクルを形成する方法。

【請求項 19】

請求項 18 に記載の方法であって、工程 (i) が、以下の工程；

i) 結合剤および M S H レセプターリガンドを提供する、工程；

i i) M S H レセプターリガンドと該結合剤とが結合するのに適切な条件を提供する工程 ; および

i i i) 該結合された分子を、処理されるべき細胞表面に接触させる工程の 1 つ、またはこれらの工程の組み合わせをさらに包含する、請求項 1 8 に記載の方法。

【請求項 2 0】

前記リンカーが、ポリエチレングリコール (P E G) を含む、請求項 1 8 または 1 9 に記載の方法。

【請求項 2 1】

細胞培養表面を調製する方法であって、以下：

i) 少なくとも 1 つの有機モノマーを提供する、工程；

i i) 該有機モノマーのプラズマを作製する、工程 ; および

i i i) M S H が結合し得る細胞培養表面を提供するために、該プラズマで該表面をコーティングする、工程を包含する、方法。

【請求項 2 2】

前記有機モノマーが、アリルアミン、ブチルアミン、ヘプチルアミンまたはプロピルアミンのようなアミンである、請求項 2 1 に記載の方法。

【請求項 2 3】

治療的手術または美容的手術を必要とする患者に、請求項 1 ~ 1 7 のいずれか 1 項に記載のビヒクルを投与する工程を包含する、処置の方法。